

第 14 回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時 平成 16 年 1 月 28 日 午後 6 時
場 所 中央図書館 4 階会議室
出席委員 佐治俊彦部会長 宮部博史委員 浜 俊子委員
藤井佐和子委員 山崎三省委員 森川西部図書館長 丸本係長
事務局出席職員 三木館長 小島課長補佐 柏倉係長 米山吉祥寺図書館長
並木主任 桐原主事 船崎専門委員

議題及び内容

○ 主な協議内容

(1)議題

①選書部会報告について

②その他

なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・ 選書のしくみの説明に時間をかけたが、AV や新聞、雑誌についてもやりたかった。
- ・ 資料データから見て、蔵書が少ないのに貸出数が多いという結果になっているので、選書が的確に出来ているとも言える。
- ・ 数字の解釈は検討していないので、報告には数字を並べるしかないと思う。
- ・ YA については、余り突っ込まなかった。YA と児童とが重なっていて、どれほど貸出をされているのかなどデータを見ていない。
- ・ 武蔵野市の図書館として YA を充実させることによって特色をだせる。若い層も読書する市としていきたい。ティーチングアシスタントのようなボランティアを導入してほしいと思っていた。
- ・ 「これを読んだら？」というのは大学生が相手なら確立しているが、子どもが相手の場合、ティーチングアシスタントが方向付けしてしまう恐れがあるので、なかなかなじまない。むしろ色々なものに触れて欲しい。
- ・ YA の選書の方針はまだない。
- ・ 児童書については、よく出来ていると思った。YA については手薄な感じがした。児童の人はきちんと選書できているのか。
- ・ 個人差はあるが、皆、若い時があるし、青春文庫に詳しい人もいる。今の YA 担当は自分の子どもが YA 世代でもありますし。
- ・ YA については、さらにやってもらう機会があるといいと思う。
- ・ この報告書はたくさんの人に見て欲しいので、ホームページ、市報で PR をして欲しい。
- ・ たくさんの職員に見て欲しい。学校図書館についても配って欲しい。
- ・ 選書部会はこれで閉会になるが、次の選書部会もあると聞いていますので、この報告書を生かして欲しい。図書館の活動のプラスにして欲しい。